

地球温暖化と家庭の省エネ取り組みに関するアンケート調査

1. 報告書概要版(調査結果のポイント)

1.1. 調査実施の概要

- 地球温暖化問題や省エネの取り組みに関する意識調査として、2022年12月に実施した。
- 島根県隠岐の島町の協力のもと、隠岐の島町の住民基本台帳をもとに無作為抽出した1,000件へ調査票を郵送し、313票回収した結果をとりまとめた。
- 令和2年度の安来市調査、令和3年度の益田市調査との比較を行った。

1.2. 結果の概要

- ① 地球温暖化を防ぐ取り組みが、「暮らしの質」の向上につながると考える人が76.3%、「地域の豊かさ」の向上につながると考える人が82.2%に達している。
- ② 定着している行動は「必要のない照明はこまめに消す」、自宅の省エネ設備・仕組みは「省エネ型エアコン冷蔵庫」や「LED」が多い。
- ③ 9割近い人が、次に選ぶときには「省エネ性能を重視」して選びたいと考えている。
- ④ 住宅の建て替え時に、断熱を検討している人は約3分の1。
- ⑤ 2050年までに自分の家でゼロカーボンが実現できると考えている人は8%。
- ⑥ 隠岐の島町が優先的に対策すべきものは「洪水・土砂災害」とする回答が多い。
- ⑦ 情報源は、テレビは共通で多いが、高年齢層は新聞、若年層はインターネットが多く、年代による違いがある。
- ⑧ 2020年から22年までに、SDGsの認知が広まり、地球温暖化対策がより豊かにする認識がひろまった。

2. 調査結果

地球温暖化を防ぐ取り組みが、「暮らしの質」の向上につながると考える人が 76.3%、「地域の豊かさ」の向上につながると考える人が 82.2%に達している

問 5 「地球温暖化を防ぐ取り組みは、あなたの暮らしの質の向上につながるといいますか」、「地球温暖化を防ぐ取り組みを進めることは、地域の豊かさの向上につながるといいますか」という質問に対し、それぞれ「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という回答を合計したところ、「暮らしの質の向上」につながるといいう回答は 76.3%、「地域の豊かさの向上」につながるといいう回答は 82.2%あった。(本編 3 章 2 節(5)および(6))

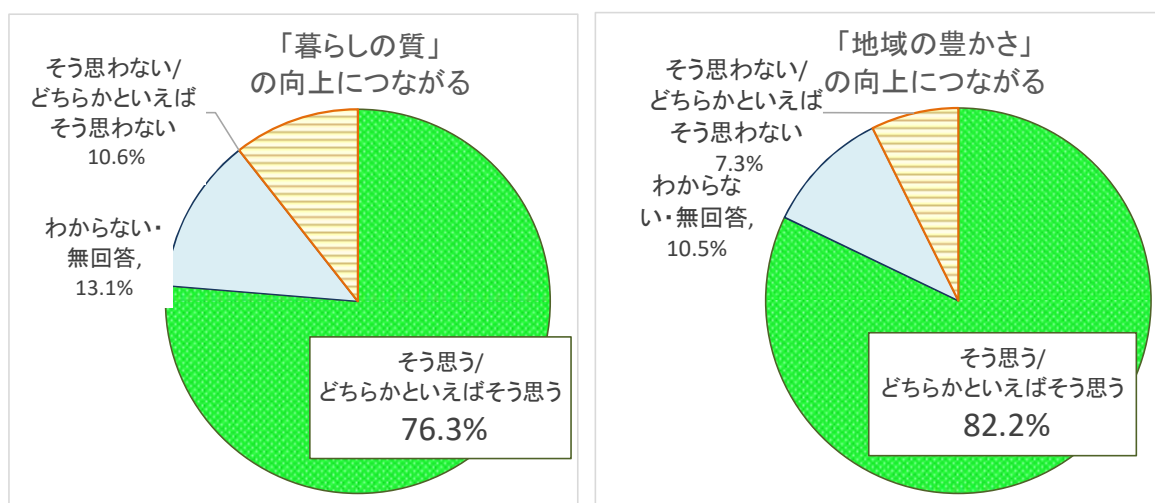


図 1 地球温暖化を防ぐ取り組みは、「暮らしの質」「地域の豊かさ」の向上につながるといいますか？

定着している行動は「必要のない照明はこまめに消す」、自宅の省エネ設備・仕組みは「省エネ型エアコン冷蔵庫」や「LED」が多い

問 7 「あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか」、および問 8 「あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか」という質問に対し、行動では「必要のない照明をこまめに消している」との回答が最も多く、いつもしている人は 69.0%に達した。また導入している設備や仕組みについては、「居間の照明はLED」が 59.7%、「エアコン・冷蔵庫などは省エネ型」が 54.6%と高かった。(本編 3 章 3 節(2)および(3))

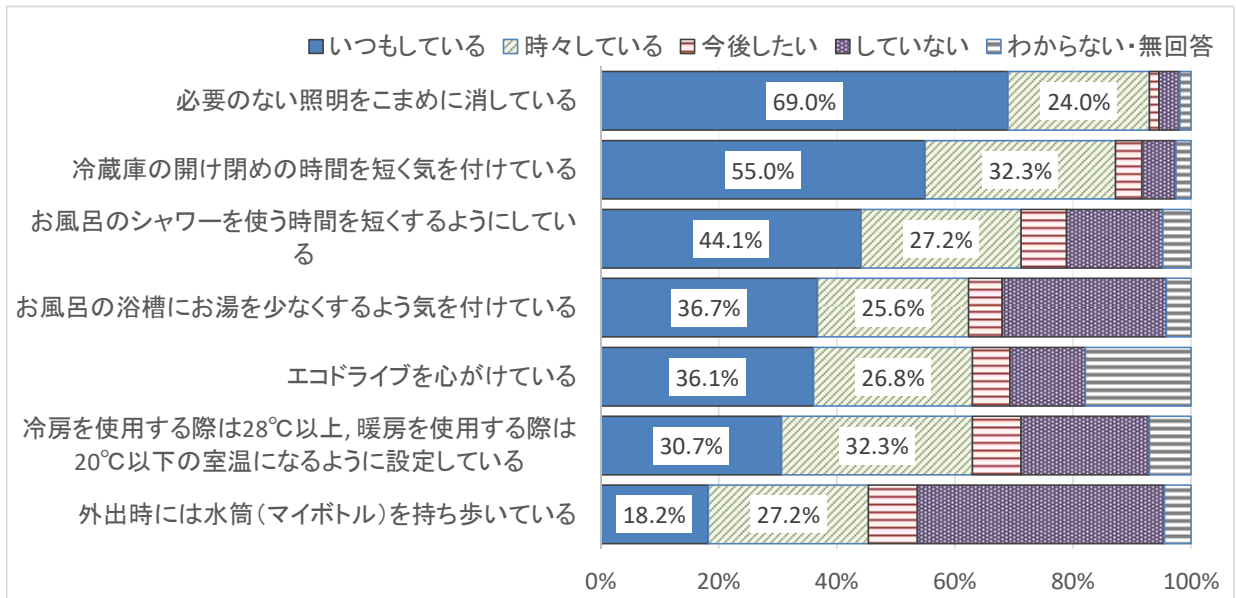


図 2 あなたは、省エネとしてどのような行動に取り組んでいますか。

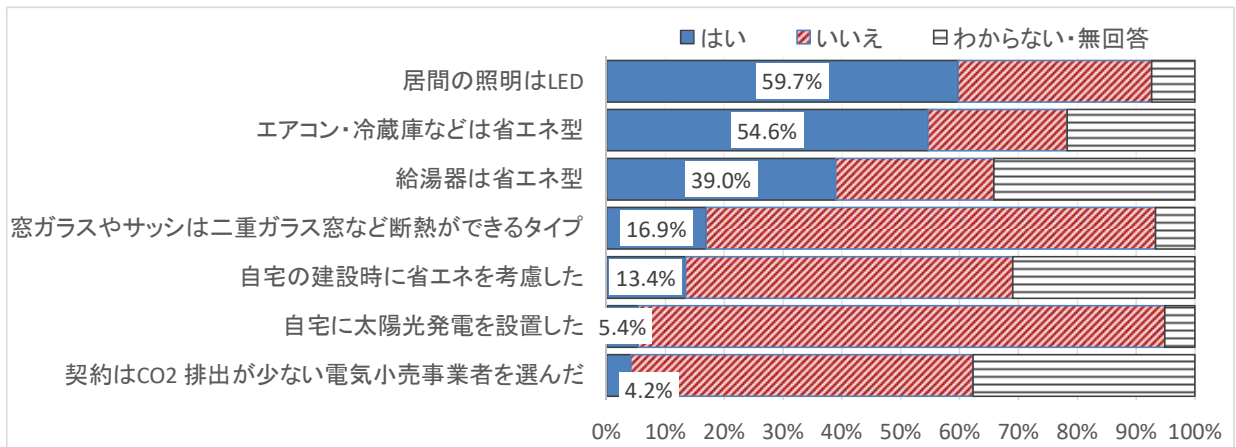


図 3 あなたのご自宅で、省エネ型の設備や仕組みをすでに導入していますか。

9 割近い人が、次に選ぶときには「省エネ性能を重視」して選びたいと考えている

問 9「次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか」という質問に対し、「重視する」「少し重視する」を合わせると、最も少ない「自家用車」で 73.5%、最も多い「家電製品（エアコン、冷蔵庫など）」では 92.9%に達した。（本編 3 章 4 節 (2)）

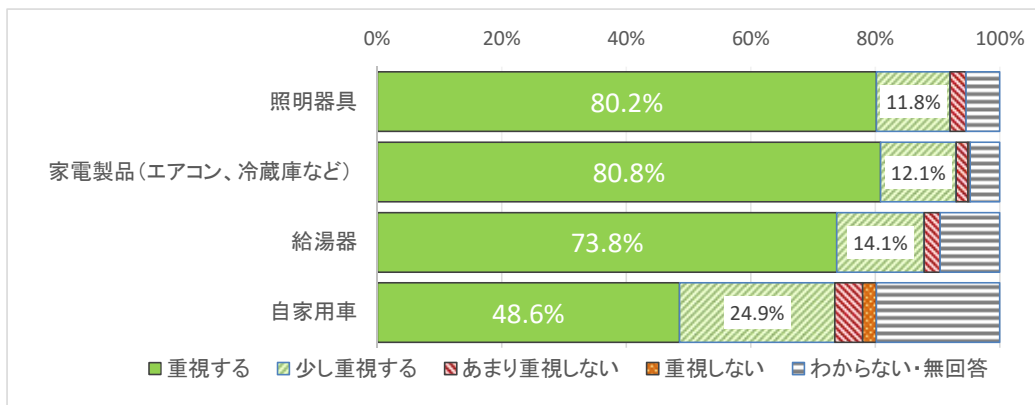


図 4 次回買い替えるときには、省エネ性能を重視して選びたいですか

住宅の建て替え時に、断熱を検討している人は約 3 分の 1

問 11「今後、住宅を建て替えするとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと
 思いますか」という質問に対し、「早く実施したい」「費用をみながら検討したい」を合わせた回答
 割合は、「窓の断熱」が 35.8%、「壁や屋根・床の断熱」が 34.5%、「太陽光発電の設置」が 16.9%あ
 った。(本編 3 章 4 節(3))

また、問 12 で「壁や窓、屋根など住宅の省エネについて、取り組もうと考える理由は何ですか」
 と尋ねたところ、上位 3 つの理由としては、「夏の暑さや冬の寒さを改善したい」「光熱費を下げた
 い」「健康に過ごしたい」があげられた。(本編 3 章 4 節(4))

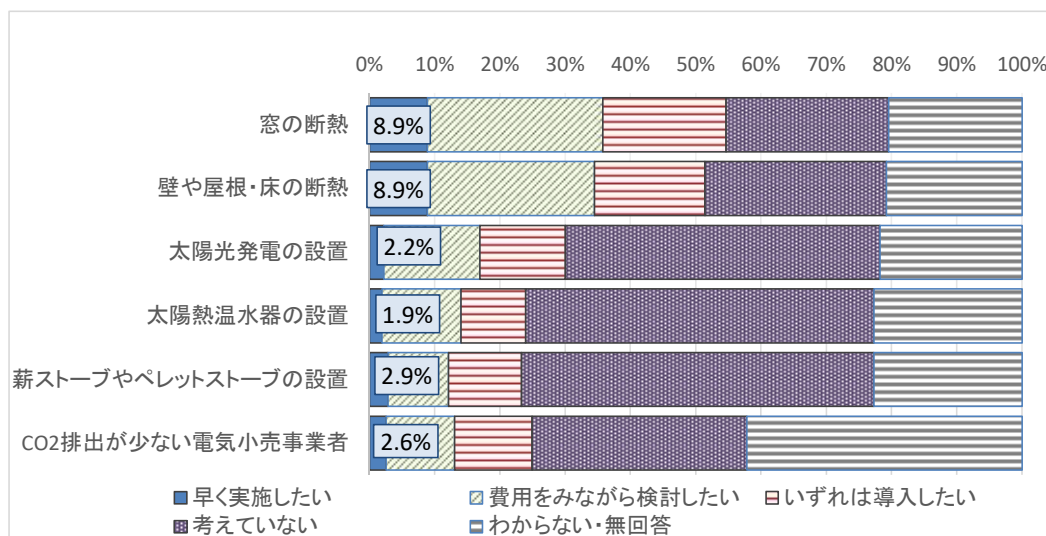


図 5 今後、住宅を建て替えするとき、省エネや再生可能エネルギーの導入などを実施したいと
 思いますか

窓・壁や屋根・床の断熱を実施・検討したいと回答した人の主な理由

1. 夏の暑さや冬の寒さを改善したい 73.5%
2. 光熱費を下げたい 61.5%
3. 健康に過ごしたい 41.0%

2050年までに自分の家でゼロカーボンが実現できると考えている人は8%

問 14「2050年までには自宅ゼロカーボンを実現できると思いますか」の質問についてすでにゼロカーボンになっているという回答は0.4%、10年以内に実現できるが1.8%、国の目標とする2050年までは実現できるとする人は6.8%で、あわせても8.0%にすぎなかった。(本編3章4節(7))

あなたの家庭でCO₂削減効果が大きいと思われるものとして尋ねたところ、効果の大きい太陽光発電、CO₂排出係数の小さい電気を選択、省エネ型給湯器、断熱などを選択する例が少なく、具体的な対策を積み上げてゼロカーボンを作り上げることが結びついていないことが考えられた。(本編3章4節(8))

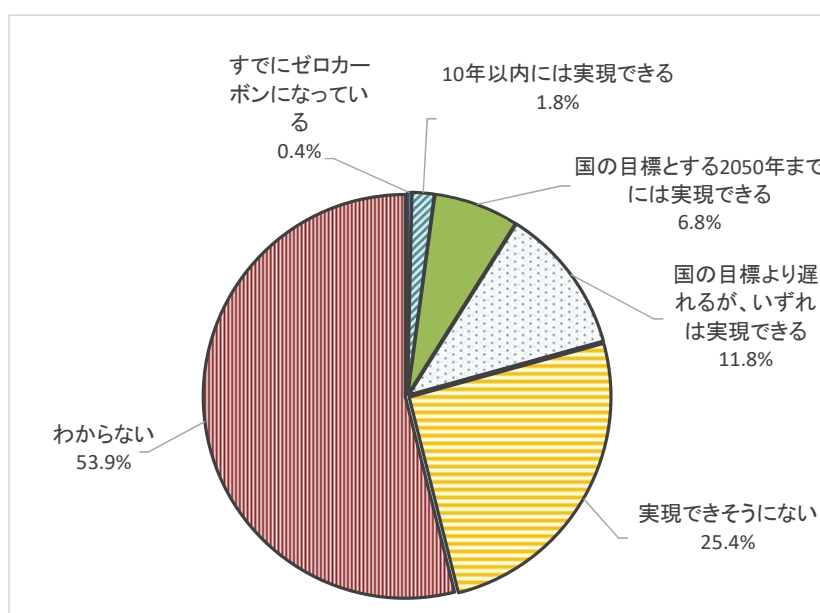


図 6 あなたの家でゼロカーボンを実現できると思いますか

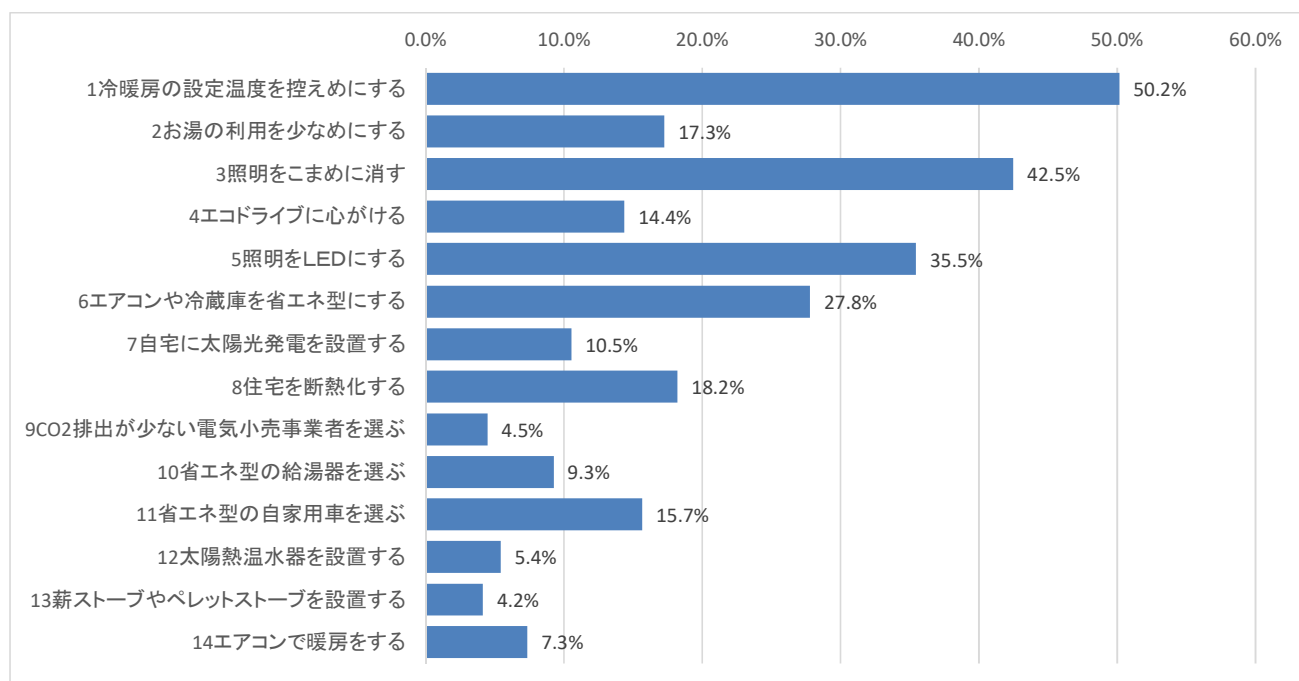


図 7 あなたの家でCO₂削減効果が大きいと思うもの(3つまで選択)

隠岐の島町が優先的に対策すべきなのは「洪水・土砂災害」の対策

問 19「隠岐の島町が優先的に対策すべきもの」の質問に対し、「洪水・土砂災害」の対策を選ぶ人が 57.2%と最も多かった。(本編 3 章 5 節 (4))

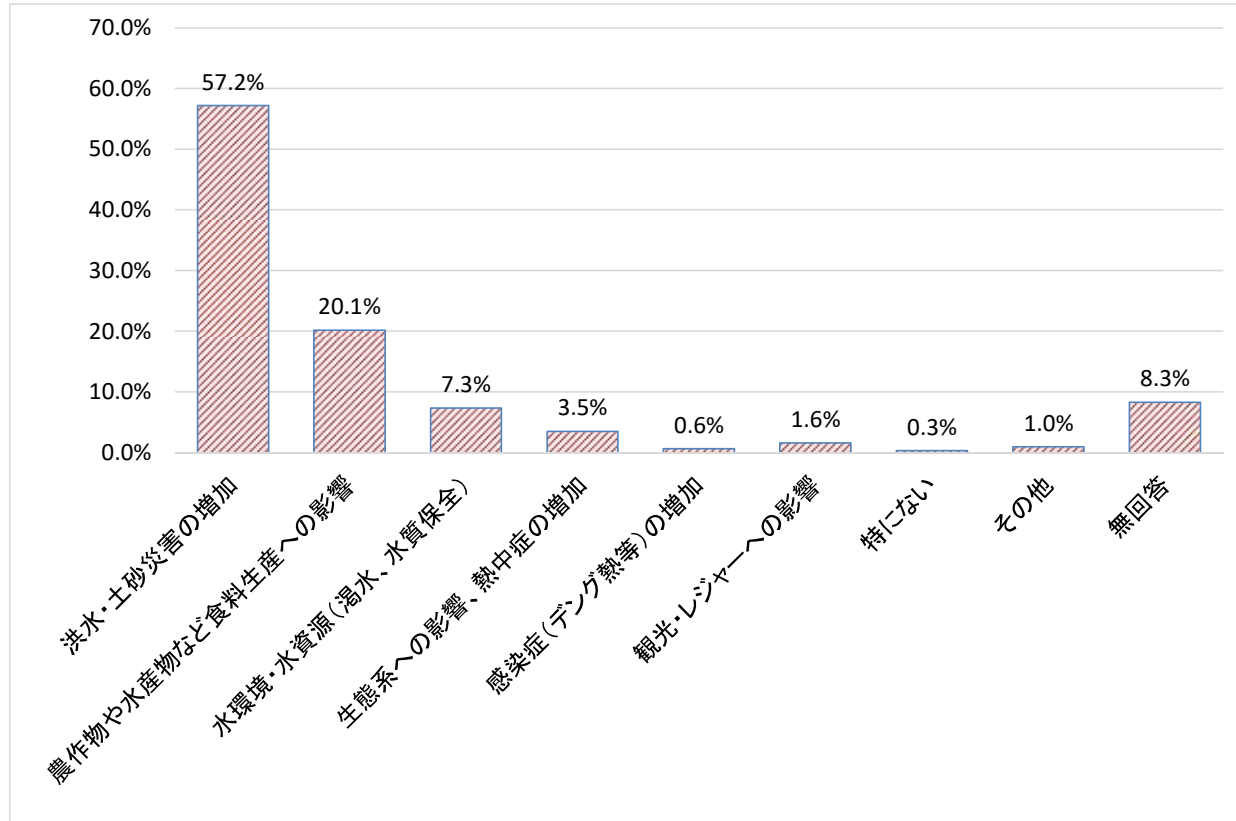


図 8 隠岐の島町が優先的に対策すべきもの

情報源は、テレビは共通で多いが、高年齢層は新聞、若年層はインターネットが多く、年代による違いがある

問 21「地球温暖化や省エネの方法に関する情報をどこから得ていますか」という質問に対し、どの年代でも「テレビ」が最も多く平均で 85.6%となっているが、2 位以下については、高年齢層では「新聞」が多かったのに対し、高年齢層以外では「インターネット」が多い傾向がみられた。(本編 4 章 11 節 (1))

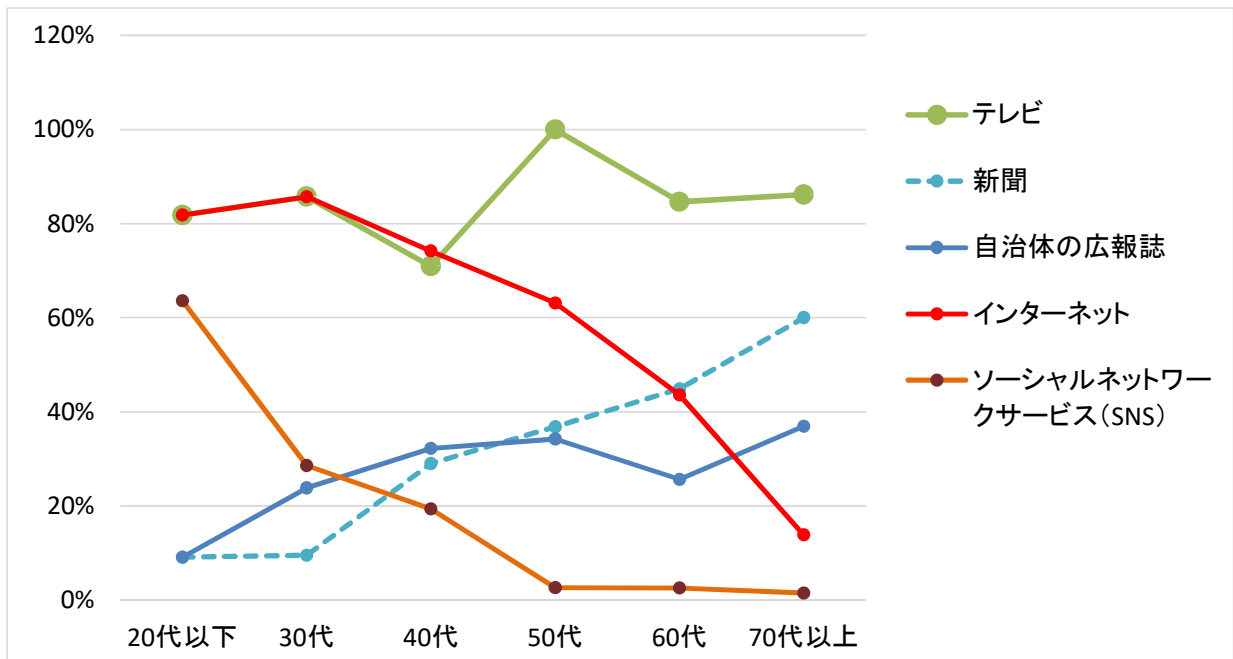


図9 「年代」と情報源

2020年から22年までに、SDGsの認知が広まり、地球温暖化対策がより豊かにする認識がひろまった

SDGsのことばを知っているか人は、2020年は7.8%にすぎなかったが、2022年では55.9%となった。また地球温暖化対策により「生活の質が向上する」と考える割合は、2020年の69.4%から、2022年には76.3%になった。地球温暖化対策により「地域の豊かさが向上する」と考える割合は、2020年の73.6%から、2022年の82.2%となった。

一定地域による差も含まれており確定できるものではないが、定着が進んでいる傾向が確認できる。(本編7章)

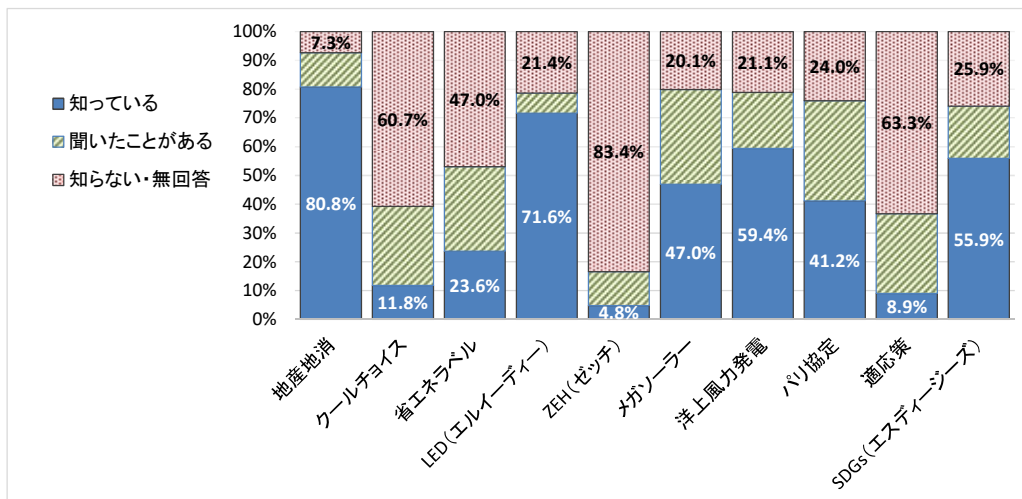
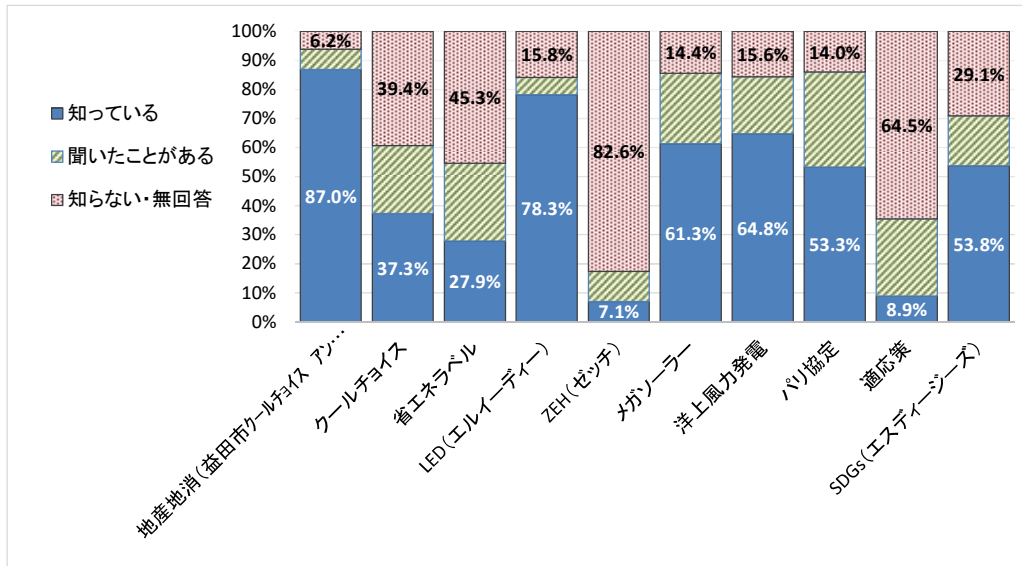
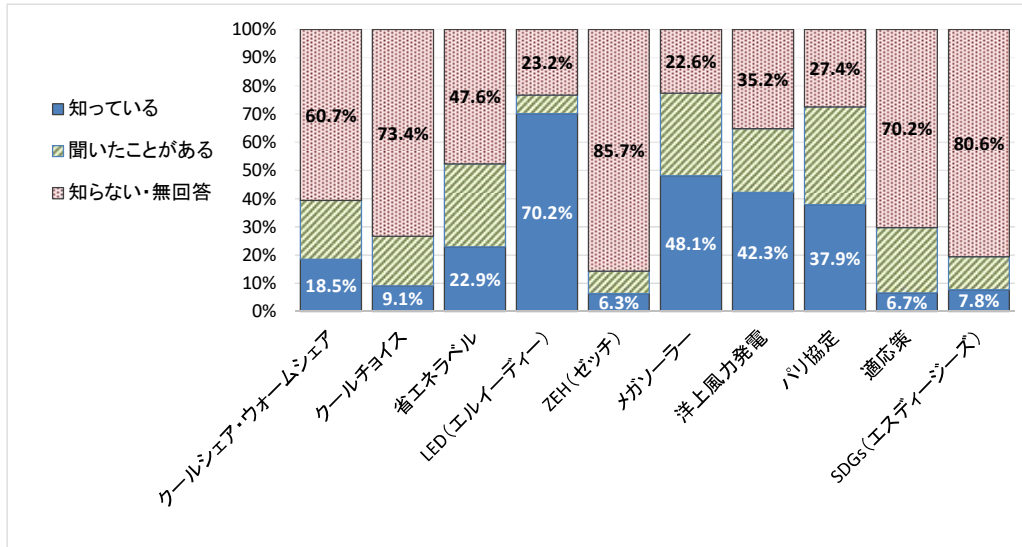


図 10 省エネに関することば (2020 年安来市、2021 年益田市、2022 年隠岐の島町)

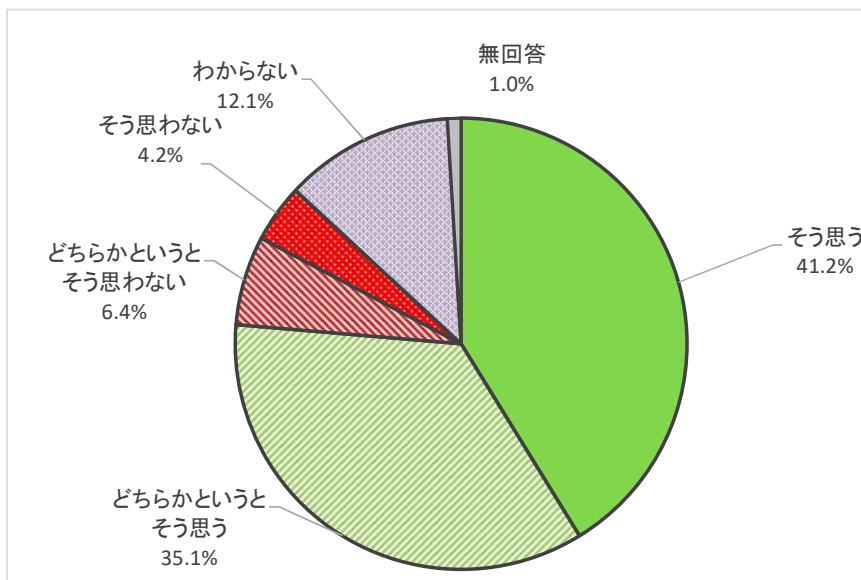
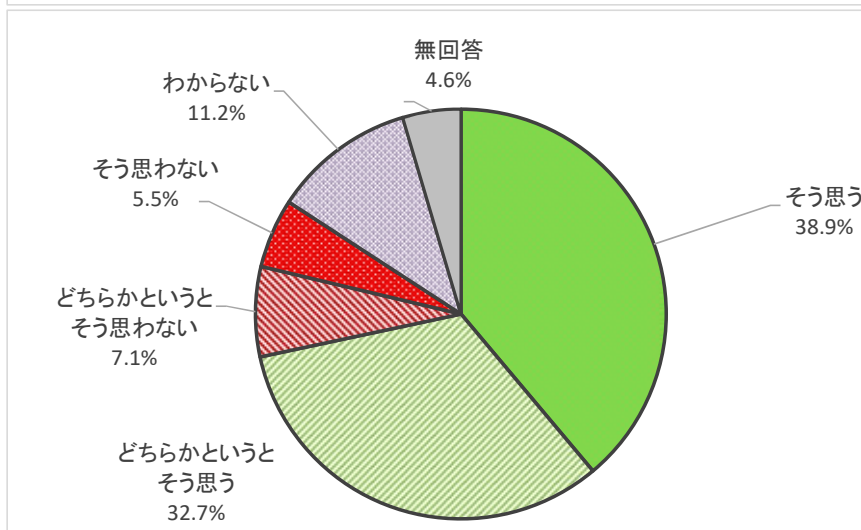
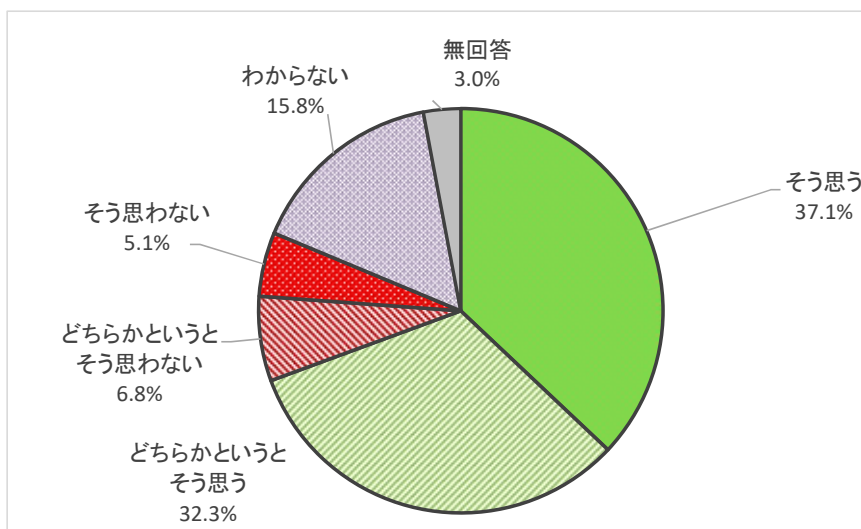


図 11 地球温暖化対策による生活の質の向上
(2020年安来市、2021年益田市、2022年隠岐の島町)

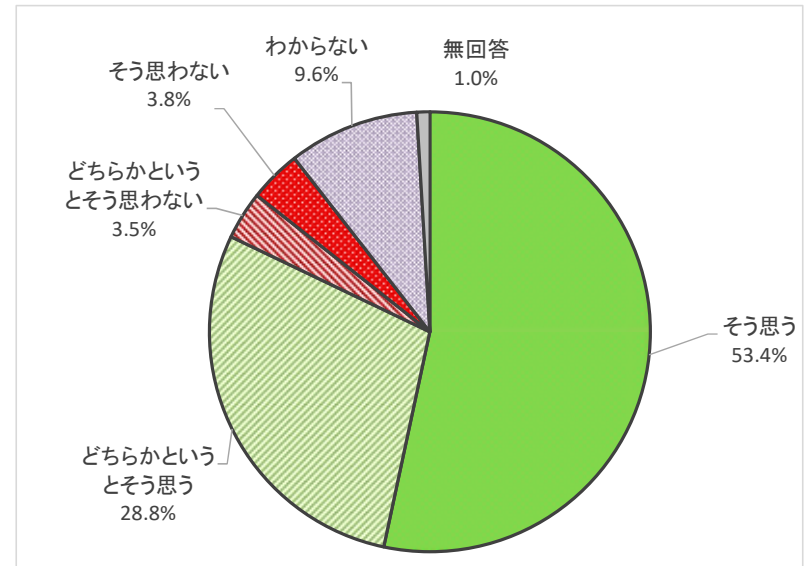
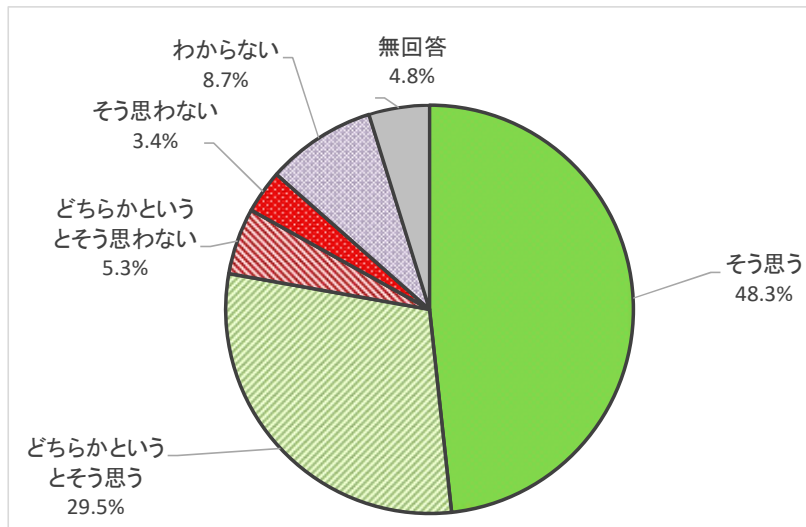
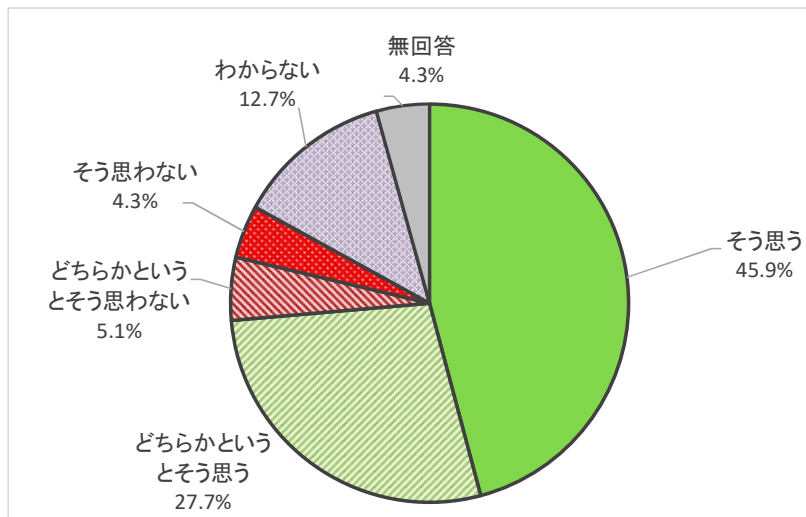


図 12 地球温暖化対策による地域の豊かさの向上
(2020年安来市、2021年益田市、2022年隠岐の島町)